

平成 29 年度
事業報告書

平成 30 年 5 月
一般財団法人 西日本産業衛生会

<はじめに>

平成 29 年度は、年度初めより緩やかな回復基調が続く中、政府は東日本大震災からの復興・創生及び平成 28 年熊本地震からの復旧・復興に向けて取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現すべく各種政策を実行してきました。その結果として、九州北部豪雨などの大きな自然災害はあったものの、好調な企業収益を背景にして回復基調が維持されています。

今後の先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続くものと期待されます。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響、緊迫度が増す北朝鮮情勢に留意する必要性があり、実体経済の下振れリスクが顕在化する可能性も残っており、景況感については不透明と言わざるを得ません。

このような中で当財団は、8月に施設間相互読影システム（N I I S）の運用開始、環境システムの全面更新、遅れていた新健診システムの全面運用開始と積極的に投資を行ってまいりました。また、年度末にはグループ間の事業再編の一環として若杉病院を社会医療法人北九州病院へ譲渡いたしました。

主力業務の健診事業においては、若干の受診者減となったPET健診を除き、その他のドック健診・生活習慣病健診・協会けんぽ健診等は前年を上回る受診者数となり、受診者総数45万人強となりました。また、環境測定事業においても分析件数においては若干減少したものの収益は増収・増益となりました。病院事業においては、入院・外来ともに前年並みを確保いたしました。収益は増収・減益となりました。

以下に平成 29 年度の事業活動の概要について記述いたしますが、厳しい経営環境の中、関係各位のご理解とご協力により、当年度も各部門で相応の実績を残すことが出来ましたことを厚くお礼申し上げます。

1. 内部体制の整備

(1) 研修

健康診断業務に対するニーズの多様化・高度化に対応する為、各種学会・講習会などに積極的に参加し、専門知識・技術・技能の習得に励みました。

全国労働衛生団体連合会・日本産業衛生学会・日本作業環境測定協会・日本総合健診医学会など諸団体が主催する学会・研究会・講習会に、医師・保健師・コメディカル職員等が多数参加し、延べ 382 名が外部研修を受講したほか、社内研修会には延べ 302 名が参加致しました。

(2) 施設・機器の整備等 (主な更新機器は別紙Ⅰのとおりです)

平成 29 年度も健診内容の充実と精度向上のため、各施設の必要に応じた医療機器の新設・増設・更新を行いました。

画像診断のデジタル化については、既に施設・巡回健診とも 24 年度迄に完了しておりますが、新健診システムにおける読影支援システムの構築については、画像部会での検討を重ね、標準様式を決定。前年度に福岡・小倉・八幡の各健診施設にて既に稼動しておりましたが、本年度 8 月に大分健診所においても稼動ネットワークが完成いたしました。

2. 事業活動状況 (別紙Ⅱに詳しい数値を示しております)

(公益事業)

(1) 産業保健事業

働く人々の健康づくり・健康管理のため、契約事業場と協力しながら産業医・保健師活動を行っております。ストレスチェック制度の施行や、長時間労働に対する医師の面接指導の法制度化、有所見率の改善に向けた取組の促進などにより、産業医の活動時間が大幅に増大する一方、全国的な産業医有資格者の不足・偏在によって、産業医有資格者の確保が非常に難しくなっておりますが、当財団では産業衛生学会により、産業衛生専門医研修施設認定を受けるとともに、実践経験豊富な専門産業医および労働衛生コンサルタントによるティーチング制度を導入し、より良質のサービス展開のために産業医・産業保健の品質向上活動を続けています。また地元、産業医科大学の全面的なご協力を得ながら意欲ある優秀な産業医をご推薦いただき、企業ニーズへの対応・最新情報の提供などの活動を展開してまいりました。その結果、契約先数は 640 事業場となっております。

(2) 健康情報発信および相談事業

①無料セミナーの実施

健康および労働環境に関するセミナーを通じて、周辺企業および住民の健康に関する普及啓発活動を行い、広く周知を致しました結果 889 名の参加となりました。主なものは下記のとおりです。

セミナー名	開催場所 (日時)	参加人員	セミナー内容
市民公開セミナー	北九州市 (29年9月)	292名	「乳がんは怖くない！ 乳がんの最新情報」
第7回働く人と職場の 健康づくりセミナー	北九州市 (29年11月)	131名	「成果の上がる健康経営の 進め方」
ストレスチェック制度 セミナー	福岡市 (29年12月)	120名	「成果の上がる健康経営の 進め方」
第14回労働安全セミナー	大分市 (30年2月)	87名	「健康経営で活気ある 魅力的な職場へ」

②健康情報誌の無償配布

「メディック」の後継情報誌として創刊した、「あんしん通信」を当財団の健康情報誌と位置づけており、当年度も年4回、年間20万部を発行致しました。また、年1回の保存版として「博多あんしん通信」及び「大分あんしん通信」をそれぞれ3万部発行しております。次年度よりリニューアルし、勤労者や地域の皆様への健康情報の提供を継続し、更に健康管理への意識の高揚に努めてまいります。

③健康等に関する相談対応

病気や障害に起因するさまざまな社会生活上の心配事、患者が抱えている問題、悩み等の問題解決のために、社会福祉の立場から看護師及びソーシャルワーカー他計6名を専門の相談員として配置し、無料で相談に応じています。

(3) 健診結果等の集計

労働衛生機関として、地域によりよい健康管理サービスの提供を行う為、健康診断結果等を集計分析し、医師・保健師・作業環境測定士・看護師等の専門家が、各種関係団体の研究会・研修会などへ参加して、研究成果を発表しております。昨年に引き続き「事業年報」を発刊いたしました。

(主な研究発表は別紙Ⅲの通りです)

(収益事業)

(1) 健康診断事業

基幹事業のひとつである健康診断については、受診者総数延べ452,334人と、5年連続で40万人の大台をキープ致しました。健診種別毎の概要は以下の通りです。

①一般健診

177,335 人の法定健診を実施し、前年対比では 97%となっています。

②協会けんぽ健診

平成 19 年度より、当財団 4 施設すべてで実施しています。受診者 93,429 人となり、前年実績比 120%となっています。

③生活習慣病予防健診

生活習慣に起因する 3 大疾病の発見を目的として、法定健診にさらに項目を追加した健康診断ですが、当年度の受診者は 62,765 人となり、前年実績比 103%となりました。

④ドック健診

一泊ドックを含む総合健診で、多くは当財団と健康保険組合が契約して、組合員・配偶者が受診機関を個人選択する健診です。当年度の受診者は 29,146 人で、前年実績比 107%と増加致しました。今後も多様化するニーズの把握と、お客様の満足度の向上に努めます。

⑤PET健診

最先端のがん検診の 1 つとして、地域での認知度も向上していますが、当年度の受診者は 4,237 人で、前年実績比 97%となっております。

平成 16 年の開設以来、累計受診者は延べ 6 万人となりましたが、引き続き PET によるがん検診の有効性を啓蒙し、地域社会からの「がん撲滅」に貢献してまいります。

⑥付加健診

基本健診に付随するオプション検査ですが、近年特に乳がん・子宮がん等への関心の高まりにより増加傾向にあります。当年度実績は 240,186 件、前年実績比 116%となっています。今後も最新の医療情報に基づいたオプション検査の提供に努めます。

⑦住民健診（含む特定健診）

地元医師会・官公庁との連携を深めその使命を果たしました。当年度の受診者は 19,335 人となり、前年実績比 105%となりました。

⑧再検査・二次検査

一次健診の事後フォローとして、受診者への的確なご案内を心がけており

ます。受診者にご負担を掛けないように一次検査の精度・判定を的確にする努力を今後も続けます。当年度の受診者は1,762人と前年実績比25%となりました。

⑨特殊健診

特殊業務に関する法令に基づく健診ですが、企業外労働衛生機関として、必要な健診を産業医・保健師・また労働衛生コンサルタントと連携し的確にご支援することは重要な業務のひとつと考えております。当年度の受診者は64,325人、前年実績比で100%となりました。

⑩外来診療

当年度の受診者は1,052人、前年実績比では106%となりました。

(2) 環境測定事業

作業環境・煙道排ガス・石綿その他の分析・測定業務に取り組んでおります。作業環境測定については9,954件（前年比86%）、石綿については、2,439件（前年比145%）となりました。合計38,474件の実施件数は前年実績比94%となっております。

また、平成24年度に大阪以西では初めての認定機関となった作業環境測定士登録講習については年間29回・合計307名の講習を実施したほか、26年度から開始した作業主任者技能講習についても年間12回・合計195名の講習を実施しました。

(3) 病院事業

病院事業は、平成30年3月末日をもって社会医療法人北九州病院へ譲渡いたしました。引き続き北九州若杉病院として運営いたします。

当年度の入院患者の延べ人員は104,935人前年実績比100%、外来患者は9,547人前年実績比101%となりました。これからも引き続き地域の皆様に貢献できるよう受入体制の充実、サービスの質向上を目指してまいります。

冒頭に記述致しましたとおり、厳しい経営環境の中、業務全般に亘って概ね計画と乖離することなく、また前年度に対しても遜色なく事業を遂行することができました。

今後とも関係各位の皆様の変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げまして、平成29年度の事業報告とさせていただきます。

別紙 I

平成29年度 主要設備機器の整備状況

北九州健診診療所

(設備)

- ・ 1Fエコー室・2Fリソ室改装工事

1 式 平成29年 4月 増設

(機器)

- ・ ベビーシート (おむつ交換台)
- ・ マンモグラフィ読影用5Mビューア
- ・ 婦人科検診台 DG-770
- ・ 婦人科診察ユニット ワークステーションDG-WS110N
- ・ デジタリ線TVシステム Raffine-i DREX-RF80
- ・ 超音波画像診断装置 Aplio 300Platinum
- ・ 高周波リニアプローブ PLT-1005BT
- ・ コンベックスプローブ PVT-375BT
- ・ X線CT装置 Revolution ACT

1 台 平成29年 6月 新規
 1 台 平成29年 9月 新規
 1 台 平成29年 11月 更新
 1 台 平成29年 12月 更新
 1 台 平成29年 12月 更新
 2 台 平成29年 12月 更新
 1 台 平成29年 12月 更新
 2 台 平成29年 12月 更新
 1 台 平成30年 3月 更新

北九州PET健診センター

(機器)

- ・ 定温乾燥器 STAC-P500K
- ・ デイスクプリッシャー Virtua E

1 台 平成29年 7月 更新
 1 台 平成29年 8月 更新

北九州産業衛生診療所

(機器)

- ・ 車載型乳房X線撮影装置 MGU-1000
- ・ 自動解析心電計 C330BX
- ・ 血圧脈波検査装置 BP-203RPEIII
- ・ 超音波診断装置 ProSound α7
- ・ 無散瞳デジタル眼底カメラ CR-2AF
- ・ VDT用近点計 NS-100
- ・ 電子スピロメーター HI-801
- ・ 自動視力計 NV-350
- ・ タッピング測定器 T.K. K1347
- ・ 発動発電機 10HDKCC
- ・ ホジメーター AA-58
- ・ 回診用デジタルX線システム FPDシステム一体型

1 台 平成29年 5月 更新
 2 台 平成29年 5月 更新
 1 台 平成29年 6月 更新
 1 台 平成29年 6月 増設
 1 台 平成29年 6月 更新
 2 台 平成29年 6月 更新
 1 台 平成29年 8月 更新
 1 台 平成29年 9月 増設
 1 台 平成29年 9月 更新
 1 台 平成29年 9月 更新
 1 台 平成30年 3月 更新
 1 台 平成30年 3月 新規

大分労働衛生管理センター

(設備)

- ・ 診療所2F体力測定室パーテーション他改修工事

1 式 平成29年 8月 改修

(機器)

- ・ 無散瞳眼底カメラ CR-2AF
- ・ デュアル周波数体組成計 DC-430A
- ・ 肺機能計 マルチファンクショナルスピロメーター HI-801
- ・ 超音波診断装置 Aplio 300 Platinum
- ・ 医用画像情報システム SYNAPSE EX
- ・ 解析付き自動心電計 C330BX
- ・ デジタルX線TVシステム Raffine-i

1 台 平成29年 5月 更新
 5 台 平成29年 6月 更新
 1 台 平成29年 7月 更新
 1 台 平成29年 8月 新規
 1 台 平成29年 8月 更新
 3 台 平成29年 11月 更新
 1 台 平成30年 3月 更新

福岡健診診療所

(機器)

・ 超音波画像診断装置 Aplio400 ハーシオンアップ	1台	平成29年	5月	更新
・ 胸部X線撮影装置 (FPD装置・X線装置)	1台	平成29年	5月	更新
・ 超音波画像診断装置Aplio 300Platinum一式	1台	平成29年	5月	更新
・ 医用画像管理システム一式 SYNAPSE EX	1台	平成29年	5月	更新
・ エアコン SZRA56BBV	1台	平成29年	6月	更新
・ アトム診療ユニットEU-70 (クスクウォーマー・ライト)	1台	平成29年	6月	更新
・ 自動体外式除細動器(AED)	1台	平成29年	8月	更新
・ 東芝デジタルFPD式X線TV装置 Raffine-i	1台	平成29年	8月	更新
・ コンベックスプローフ PVT-375BT/FD	2台	平成30年	3月	更新

環境測定センター 北九州事業部

(機器)

・ X線回折装置 D8ADVANCE	1台	平成29年	5月	新規
・ モニターセット LC50W35	1台	平成29年	5月	新規
・ ハイボリュームエアサンプラー HV-500R	1台	平成29年	6月	更新
・ 薬用冷蔵ショーケース DC-ME50RSA-EC	1台	平成29年	9月	増設

環境測定センター 大分事業部

(機器)

・ 燃焼排ガス分析計 testo 350J	1台	平成29年	5月	新規
・ 固定電話機主装置	1台	平成29年	5月	更新
・ ガスクロマトグラフ悪臭分析装置 7890B	1台	平成29年	6月	新規
・ 灰化炉 AAF11/3	1台	平成29年	10月	更新
・ エアサンプラー SP311	1台	平成29年	2月	更新
・ ガスメーター GM-26H	1台	平成29年	2月	更新
・ ポータブルマルチガスモニター GE-6000	1台	平成30年	3月	新規
・ デジタル粉じん計 LD-5R	2台	平成30年	3月	新規

若杉病院

(設備)

・ 空調増設工事	3式	平成29年	6月他	増設
・ 手のひら静脈認証システム端末設置工事	1式	平成29年	8月	新規
・ 3病棟 酸素配管増設	1式	平成29年	11月	増設

(機器)

・ 医用テレメータ WEP-5204	2台	平成29年	7月	新規
・ コールドテーブル RT-150SDF-E	1台	平成29年	8月	更新
・ 全自動軟膏練り機ひとひ練り YS-MX0-240	1台	平成29年	10月	新規
・ コミ収集庫	1台	平成29年	10月	新規
・ CT X線管球	1台	平成29年	11月	更新
・ プラステチター&ショックフリーザー HBC-12B3	1台	平成30年	2月	更新
・ ラボートLXS BG2700	1台	平成30年	3月	更新
・ パラフィン浴装置 NS-212-S	1台	平成30年	3月	更新
・ 多機能心電計 C800DX	1台	平成30年	3月	更新

事務センター

(機器)

- | | | | | |
|--------------------------|-----|----------|-----|----|
| ・ 会議テーブル・椅子セット | 1 台 | 平成 2 9 年 | 8 月 | 更新 |
| ・ 新健診システム 読影支援システム ハード一式 | 1 台 | 平成 2 9 年 | 8 月 | |
| ・ 健診システムサーバー一式 増設 | 1 台 | 平成 3 0 年 | 3 月 | |

財団本部

(機器)

- | | | | | |
|---------------------|-----|----------|-------|----|
| ・ 経理システム (MJS) サーバー | 1 台 | 平成 2 9 年 | 1 0 月 | 更新 |
|---------------------|-----|----------|-------|----|

〈事業活動状況〉 (公益事業)

区 分		平成28年度実績	平成29年度計画	平成29年度実績	前年対比	備考
(1)産業保健事業	実施事業場	643	600	640	100%	
(2)健康情報発信	健康情報誌	260,000	260,000	260,000	100%	発行部数

(収益事業)

区 分		平成28年度実績	平成29年度計画	平成29年度実績	前年対比	備考
健康診断	一 般 健 診	183,602	186,840	177,335	97%	人員
	協会けんぽ(旧政管)健診	77,932	80,140	93,429	120%	〃
	生活習慣病健診	61,076	60,990	62,765	103%	〃
	ド ッ ク 健 診	27,158	28,670	29,146	107%	〃
	P E T 健 診	4,353	4,660	4,237	97%	〃
	付加健診(注)	(207,140)	(218,490)	(240,186)	116%	件数
	住民(含む特定)健診	18,466	20,780	19,335	105%	人員
	再検査・二次検査	7,191	6,982	1,762	25%	〃
	特 殊 健 診	64,496	68,740	64,325	100%	〃
	外 来 診 療 (注)	(995)	(850)	(1,052)	106%	〃
合 計		444,274	457,802	452,334	102%	(注)延べ受診人員
環境測定	作 業 環 境	11,541	10,446	9,954	86%	件数
	煙 道 ガ ス	414	305	341	82%	〃
	石 綿	1,678	1,592	2,439	145%	〃
	そ の 他	27,400	25,401	25,740	94%	〃
	合 計	41,033	37,744	38,474	94%	件数
病院	入 院	104,824	105,211	104,935	100%	延べ人員
	外 来	9,448	9,376	9,547	101%	〃

(注): 健康診断合計には、()内数値(付加健診及び外来診療)を除き、一般健診については有害業務従事者の重複健診、協会けんぽについては付加健診・がん健診ほかの重複受診者を含む延べ人員を表示。

<事業活動内訳>

(1)健康診断

区分	科目名	平成28年度実績	平成29年度計画	平成29年度実績	備考
一般健診	定期A	72,572	70,300	68,794	
	定期B	62,118	66,770	56,242	
	定期C	39,744	41,280	42,862	
	雇入時健診	9,168	8,490	9,437	
	小計(一般健診)	183,602	186,840	177,335	
協会けんぽ 健診(旧)	一般健診	65,040	64,100	68,438	
	付加健診	1,464	4,620	1,706	
	乳がん	4,777	4,840	1,031	
	子宮がん	6,415	6,380	6,918	
	その他(特定健診等を含む)	0	0	4,043	
	肝炎ウイルス検査	236	200	11,293	
小計(協会けんぽ健診)	77,932	80,140	93,429		
生活習慣病健診	共済組合	7,856	7,850	7,887	
	指定健診	47,760	47,510	49,459	
	ヘルスチェックママ	5,460	5,630	5,419	
	小計(生活習慣病健診)	61,076	60,990	62,765	
ドック健診	日帰り人間ドック	24,746	26,070	26,718	
	日帰り人間ドック(配偶者)	1,642	1,800	1,708	
	一泊ドック	770	800	720	
	小計(ドック健診)	27,158	28,670	29,146	
PET健診	PET健診	4,353	4,660	4,237	
	小計(PET健診)	4,353	4,660	4,237	
付加検査	付加検査(オプション)	207,140	218,490	240,186	
	小計(付加検査)	207,140	218,490	240,186	
特定健診	住民(含む特定)健	18,466	20,780	19,335	
	小計(特定健診)	18,466	20,780	19,335	
再検・二次検査	再検査	6,139	6,030	928	
	胃・十二指腸	53	40	32	
	大腸検査	2	2	3	
	腎機能	225	240	187	
	肝機能	146	120	106	
	耐糖検査	276	270	292	
	CT検査	13	30	20	
	その他二次検査	337	250	194	
小計(再検・二次検査)	7,191	6,982	1,762		
特殊健診	じん肺	8,092	9,600	7,548	
	歯牙	929	950	903	
	鉛	884	880	736	
	有機溶剤	12,824	12,640	13,373	
	コールタール	1,432	1,570	1,482	
	紫赤外線	3,788	5,020	3,629	
	騒音	10,516	11,320	10,231	
	振動	2,251	3,470	2,173	
	VDT	4,242	4,160	4,604	
	石綿	2,364	2,320	2,349	
	その他特殊	16,695	16,450	16,802	
	特殊二次	85	60	73	
	管理手帳	394	300	422	
小計(特殊健診)	64,496	68,740	64,325		
外来	外来	995	850	1,052	
	小計(外来)	995	850	1,052	

(2)環境測定

科 目		平成28年度実績	平成29年度計画	平成29年度実績	備考
作業環境	粉 じ ん	1,644	1,950	1,803	
	特定化学物質	3,576	2,656	2,885	
	金 属	457	447	403	
	有機溶剤	3,652	2,945	2,805	
	騒 音	724	814	830	
	照 度	3	9	9	
	事務所管理	43	26	24	
	局所排気定期点検	808	744	779	
	作業環境診断	5	10	10	
	そ の 他	629	845	406	
小 計	11,541	10,446	9,954		
煙道排ガス	煤 じ ん	139	128	132	
	硫黄酸化物	63	54	61	
	窒素酸化物	150	116	120	
	そ の 他	62	7	28	
	小 計	414	305	341	
その他	排 水	483	450	468	
	飲料水	119	136	146	
	産業廃棄物	5	601	606	
	そ の 他	2,800	1,639	1,997	
	(特検)鉛	394	25	25	
	(特検)有機溶剤	23,599	22,550	22,498	
	石 綿	1,678	1,592	2,439	
小 計	29,078	26,993	28,179		
合 計	41,033	37,744	38,474		

(3)病院

項 目	平成28年度実績	平成29年度計画	平成29年度実績	備考
入 院	104,824	105,211	104,935	
外 来	9,448	9,376	9,547	
合 計	114,272	114,587	114,482	

健診部門（研究発表）

- (1) 日 時 平成29年5月11日（木）
場 所 東京 東京ビックサイトTFTビル
講 演 会 第90回日本産業衛生学会
発 表 題 名 企業外労働衛生機関による中小規模事業場に対するストレスチェック実施支援（第二報）
発 表 者 北九州産業衛生診療所 医師 渡邊 聖二(他2名)
- (2) 日 時 平成27年5月11日～13日
場 所 東京 東京ビックサイトTFTビル
講 演 会 第90回日本産業衛生学会
発 表 題 名 わが国の看護師におけるHIVに感染した同僚の職場での受け入れ態度
発 表 者 北九州産業衛生診療所 医師 石丸知宏(他1名)
- (3) 日 時 平成29年7月14日(金)・15日(土)
場 所 熊本市国際交流会館
講 演 会 日本産業衛生学会九州地方会学会
発 表 題 名 中小企業の健康診断事後措置に関する実態調査
発 表 者 大分労働衛生管理センター 【筆頭演者】 保健師 林 五月
【共同演者】 医 師 永安 裕次郎・後藤 誠
- (4) 日 時 平成29年11月18日
場 所 宝山ホール（鹿児島県文化センター）
講 演 会 放射線技術学の粋を集めて～社会に役立てるために～
発 表 題 名 広範囲収集が可能なPET/CT装置での各スライス位置における画質の検討
発 表 者 北九州PET健診センター 前田 裕幸
- (5) 日 時 平成29年11月23日～25日
場 所 高知 高知県立県民文化ホール
講 演 会 第27回日本産業衛生学会全国協議会
発 表 題 名 タイ・バンコクにおける大気汚染がバイクタクシー運転手の肺機能に与える影響
発 表 者 北九州産業衛生診療所 医師 石丸知宏(他1名)
- (6) 日 時 平成30年1月26日(金)・27日(土)
場 所 愛知県産業労働センター
講 演 会 日本総合健診医学会 第46回大会
発 表 題 名 外部委託先のブラインド調査実施による検査データの精度把握について
発 表 者 大分労働衛生管理センター 【筆頭演者】 臨床検査技師 秋月 友子
【共同演者】 臨床検査技師 郷司 秀幸・遠島 裕子
森本 恵・鳴海 優香
医 師 宮川 勇生・溝口 博本
- (7) 日 時 平成29年3月24日
場 所 琉球大学
講 演 会 平成29年度琉球大学公開講座（招待講座）
発 表 題 名 更年期婦人の救急疾患について
発 表 者 北九州産業衛生診療所 医師 石 明寛

環境部門

- (1) 日時 平成29年6月10日～11日
場所 「筑豊ハイツ」 飯塚市仁保8-30
学会・研究会名 平成29年度合同研修会
発表題名 採石作業場等屋外作業場における粉じんのリスク評価事例について
発表者 環境測定センター 大分事業部 作業環境測定士 大久保 友太郎
- (2) 日時 平成29年6月10日～11日
場所 「筑豊ハイツ」 飯塚市仁保8-30
学会・研究会名 平成29年度合同研修会
発表題名 三酸化二アンチモン等取り扱い作業場の実態について
発表者 環境測定センター 大分事業部 作業環境測定士 森 憲一
- (3) 日時 平成29年7月13日～14日
場所 「ホテル メルパルク熊本」 熊本市中央区水道町14-1
学会・研究会名 (公社)日本作業環境測定協会 九州支部
平成29年度 作業環境測定技術研修会
発表題名 三酸化二アンチモン等取り扱い作業場の実態について
発表者 環境測定センター 大分事業部 作業環境測定士 森 憲一
- (4) 日時 平成29年7月13日～14日
場所 「ホテル メルパルク熊本」 熊本市中央区水道町14-1
学会・研究会名 (公社)日本作業環境測定協会 九州支部
平成29年度 作業環境測定技術研修会
発表題名 病院における化学物質の定性評価への効率的な進め方について
発表者 環境測定センター 北九州事業部 谷口 満美
- (5) 日時 平成29年7月13日～14日
場所 「ホテル メルパルク熊本」 熊本市中央区水道町14-1
学会・研究会名 (公社)日本作業環境測定協会 九州支部
平成29年度 作業環境測定技術研修会
発表題名 湿式研削作業場におけるアミン含有研削油の調査
発表者 環境測定センター 北九州事業部 菊地 友子
- (6) 日時 平成29年7月13日～14日
場所 「ホテル メルパルク熊本」 熊本市中央区水道町14-1
学会・研究会名 (公社)日本作業環境測定協会 九州支部
平成29年度 作業環境測定技術研修会
発表題名 採石作業場等屋外作業場における粉じんのリスク評価事例について
発表者 環境測定センター 大分事業部 作業環境測定士 大久保 友太郎
- (7) 日時 平成29年7月13日～14日
場所 「ホテル メルパルク熊本」 熊本市中央区水道町14-1
学会・研究会名 (公社)日本作業環境測定協会 九州支部
平成29年度 作業環境測定技術研修会
発表題名 X線回折と電子顕微鏡を用いたリフラクトリーセラミックファイバー (RCF)の
バルク及び繊維数濃度の分析手法について
発表者 環境測定センター 大分事業部 作業環境測定士 河野 光雄
- (8) 日時 平成29年11月7日～9日
場所 「静岡県コンベンションアーツセンター」 静岡市駿河区東静岡2-3-1
学会・研究会名 第38回 作業環境測定研究発表会
第57回 日本労働衛生工学会
発表題名 病院(病理検査室)における化学物質の取扱いに関するリスク評価の
効率的な進め方について
発表者 環境測定センター 北九州事業部 田口 信康

- (9) 日時 平成29年11月7日～9日
 場所 「静岡県コンベンションアーツセンター」 静岡市駿河区東静岡2-3-1
 学会・研究会名 第38回 作業環境測定研究発表会
 第57回 日本労働衛生工学会
 発表題名 病院(検査室)における化学物質の取扱いに関するリスク評価の効率的な進め方について
 発表者 環境測定センター 北九州事業部 石打 悠太
- (10) 日時 平成29年11月7日～9日
 場所 「静岡県コンベンションアーツセンター」 静岡市駿河区東静岡2-3-1
 学会・研究会名 第38回 作業環境測定研究発表会
 第57回 日本労働衛生工学会
 発表題名 研削作業場における研削油の使用実態と
 含有するアミン類のリスク評価事例
 発表者 環境測定センター 北九州事業部 吉田 祐一郎
- (11) 日時 平成29年11月7日～9日
 場所 「静岡県コンベンションアーツセンター」 静岡市駿河区東静岡2-3-1
 学会・研究会名 第38回 (公社)日本作業環境測定協会作業環境測定研究発表会
 発表題名 三酸化二アンチモン等取り扱い作業場の実態について
 発表者 環境測定センター 大分事業部 作業環境測定士 岡 光一
- (12) 日時 平成29年11月7日～9日
 場所 「静岡県コンベンションアーツセンター」 静岡市駿河区東静岡2-3-1
 学会・研究会名 第38回 (公社)日本作業環境測定協会作業環境測定研究発表会
 発表題名 三酸化二アンチモン等取り扱い作業場の実態について
 発表者 環境測定センター 大分事業部 作業環境測定士 岡 光一
- (13) 日時 平成29年11月7日～9日
 場所 「静岡県コンベンションアーツセンター」 静岡市駿河区東静岡2-3-1
 学会・研究会名 第38回 (公社)日本作業環境測定協会作業環境測定研究発表会
 発表題名 採石作業場等屋外作業場における粉じんのリスク評価事例について
 発表者 環境測定センター 大分事業部 作業環境測定士 川野 智晃
- 日時 平成29年11月7日～9日
 場所 「静岡県コンベンションアーツセンター」 静岡市駿河区東静岡2-3-1
 学会・研究会名 第38回 (公社)日本作業環境測定協会作業環境測定研究発表会
 発表題名 粉じん則適用外の粉じん作業場のリスク評価事例
 発表者 環境測定センター 大分事業部 作業環境測定士 田吹 光司郎

病院部門

- (1) 日時 平成29年10月19日～20日
 場所 仙台国際センター
 学会・研究会 日本慢性期医療学会
 発表題名 地域が創る慢性医療—新たな医療への挑戦—
 発表者 三宅 和弘、久保 聖子、松尾 洋子
- (2) 日時 平成29年12月9日
 場所 ナースプラザ福岡
 学会・研究会 第17回福岡県看護学会
 発表題名 認知症ケアチームの取組み～パーソン・センタード・ケアの実施～
 発表者 玉井 真

健診部門（論文）

- (1) 刊行物名 日本女性医学学会雑誌（2017年4月）
発表題名 自律神経調節の基礎と臨床：植物由来フラボノイドと更年期障害について（共著）
執筆者 北九州健診診療所 医師 石 明寛（他7名）
- (2) 刊行物名 日本医事新報 4873号20頁～22頁
発表題名 HIVや肝炎ウイルスに感染した医療従事者に対する就業上の配慮
執筆者 北九州産業衛生診療所 医師 石丸知宏（他3名）
- (3) 刊行物名 労働の科学 72巻9号542頁～554頁
発表題名 ミャンマー連邦共和国の労働安全衛生の現状とこれからの展望
発表者 北九州産業衛生診療所 医師 石丸知宏（他3名）
- (4) 刊行物名 Journal of Occupational Health 2017;59:304-8.
発表題名 A consensus for occupational health management of healthcare workers infected with human immunodeficiency virus, hepatitis B virus, and / or hepatitis C virus.
発表者 北九州産業衛生診療所 医師 石丸知宏（他2名）
- (5) 刊行物名 Journal of the Air & Waste Management Association 2018;68:139-145.
発表題名 Considering the effects of ambient particulate matter on the lung function of motorcycle taxi drivers in Bangkok, Thailand
発表者 北九州産業衛生診療所 医師 石丸知宏（他3名）
（共著）
- (6) 刊行物名 臨床放射線 Vol. 62
発表題名 口腔・顎顔面領域の18F-FDG集積
執筆者 北九州PET健診センター センター長 古賀博文
九州歯科大学 歯科放射線学分野
鬼頭慎司 他10名